

第4回 静岡市 LRT 導入研究会

1. 開催日時 平成 23 年 12 月 12 日（月）14:00～15:30
2. 開催場所 静岡市役所 静岡庁舎 本館 3 階 議会特別会議室
3. 出席者 埼玉大学大学院 教授 久保田 尚
静岡鉄道株式会社 専務取締役 三浦 孝文
静岡市 副市長 清水 喜代志
※静岡商工会議所 後藤会頭は所用により欠席

静岡商工会議所 専務理事 五十嵐 仁

4. 会議内容

- (1) 開会
- (2) 研究会
 - ・パブリックコメント等について
 - ・検討内容のまとめ
 - ・意見交換
- (3) 閉会

5. 議事要旨

○清水ルートの扱い

- ・事業費の観点から JR と静岡鉄道の両方からの利用者を需要に取り込むことが必要である。そのため、清水 A ルート（新清水駅～日の出方面）と清水 B ルート（新清水駅～JR 清水駅）は合わせて 1 ルートと考えるものとする。なお、分割整備などを論じる場合には、従来のとおり清水 A ルート及び清水 B ルートの表記を用いる。

○採算性検討

- ・「線路使用料」（資料「検討内容のまとめ」 P6 採算性検討）は、施設保有者側では収入になるが、運営者では負担側となり、採算の収支としてわかりづらいため本表からは外し、算出根拠とともに別途説明する構成とする。

○その他資料内容について

- ・「市民 1 万人に年間 1 万円の定期利用者確保」（資料「検討内容のまとめ」 P9 清水地区一解決方策 ③市民が走らせる LRT）は、「1 週間に 1 回 1 往復 LRT に乗って下さい」という、利用促進スローガンとしての記述であるが、根拠として現在想定される欠損相当を補う金額である旨を明記する。